

2016年3月期 第2四半期 決算説明会

2015年10月30日
株式会社デンソー

**1. 売上は、海外での生産増加や拡販、円安の影響により、増収
営業利益は、その他収支を除くと、為替差益と合理化努力により、増益**

**2. 通期営業利益予想は、主に中国やアセアン市場の動向を踏まえ、
公表比で下方修正するものの、前年比で増益**

2016年3月期 第2四半期 実績

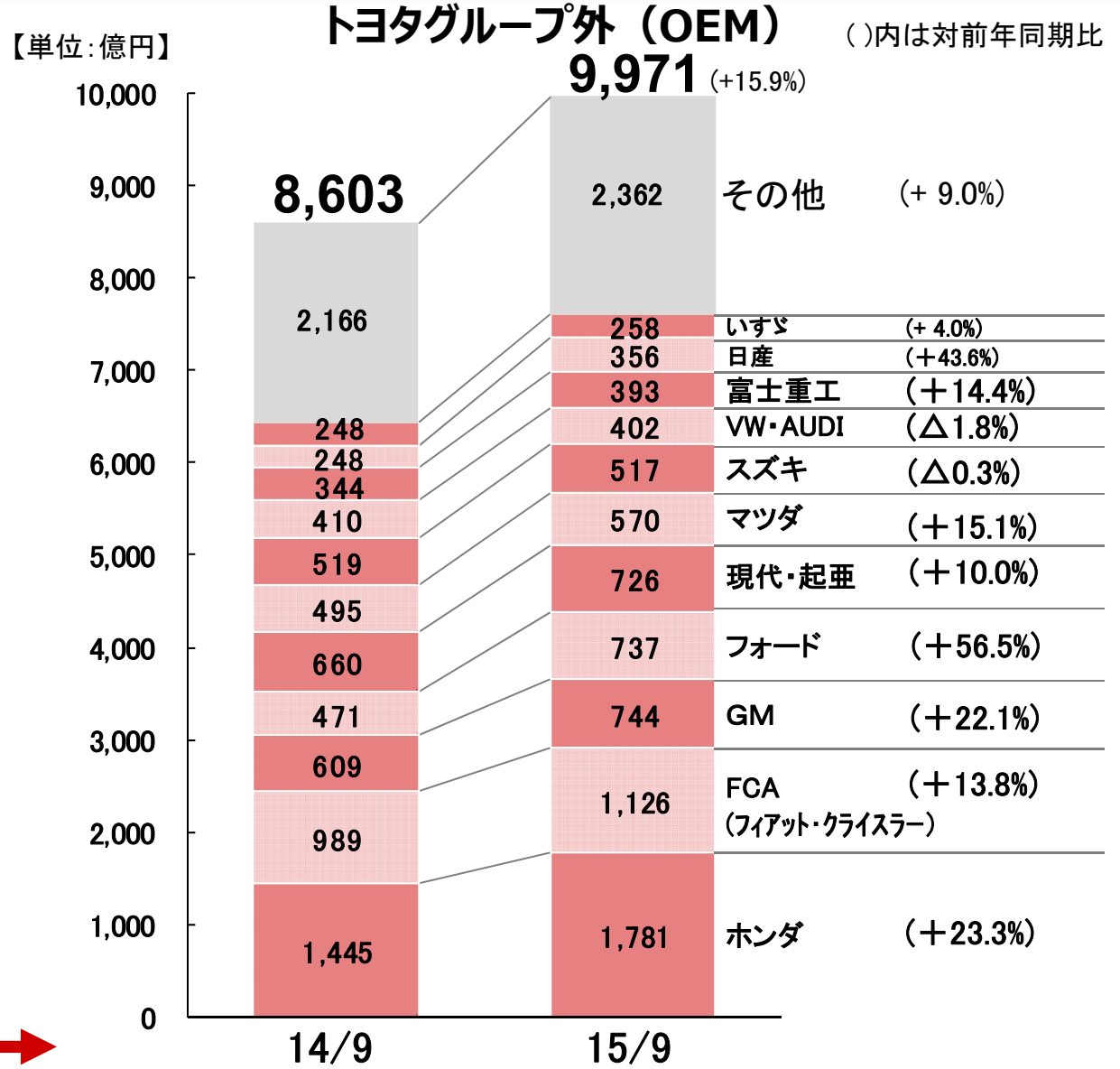
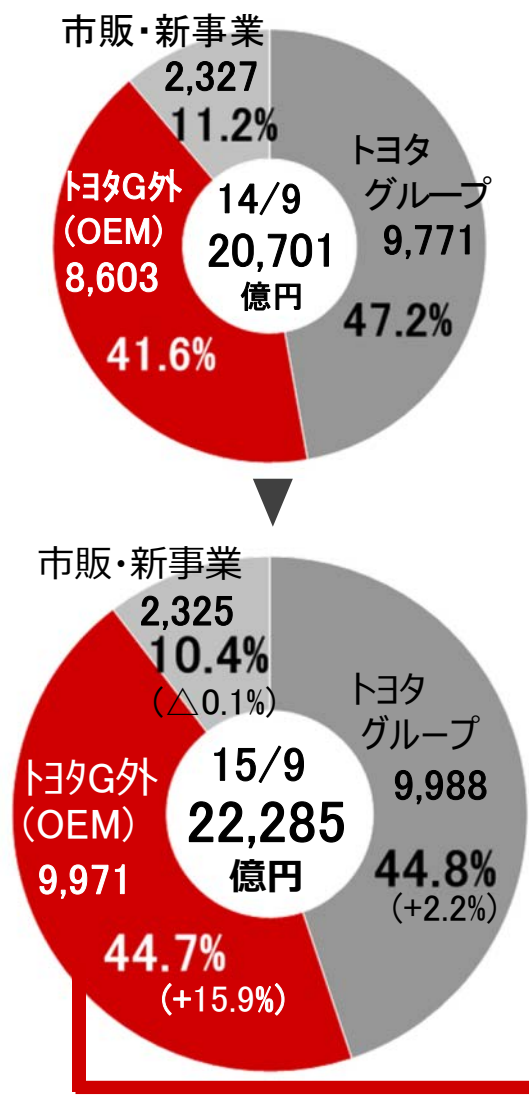
2 / 35

	()内は売上収益比		【単位:億円】	
	15/9期実績	14/9期実績	増減額	増減率
売上収益	22,285	20,701	+ 1,583	+ 7.6%
営業利益 <small>(^{除く}その他収支)</small>	(7.5%) 1,672	(7.8%) 1,605	67	+ 4.2%
その他収支	△192	△107	△ 85	
営業利益	(6.6%) 1,480	(7.2%) 1,498	△18	△ 1.2%
金融収支等(※1)	188	186	+ 2	
税引前利益	(7.5%) 1,668	(8.1%) 1,684	△ 16	△ 0.9%
当期利益(※2)	(5.1%) 1,130	(5.4%) 1,120	+ 10	+ 0.9%
為替レート	122円/ドル 135円/1-0	103円/ドル 139円/ユーロ	19円 円安 4円 円高	
国内車両生産	432万台	459万台	△ 27万台	△ 5.9%
海外日系車生産 (内、北米)	927万台 (313万台)	913万台 (299万台)	+ 14万台 (+ 14万台)	+ 1.5% (+ 4.7%)

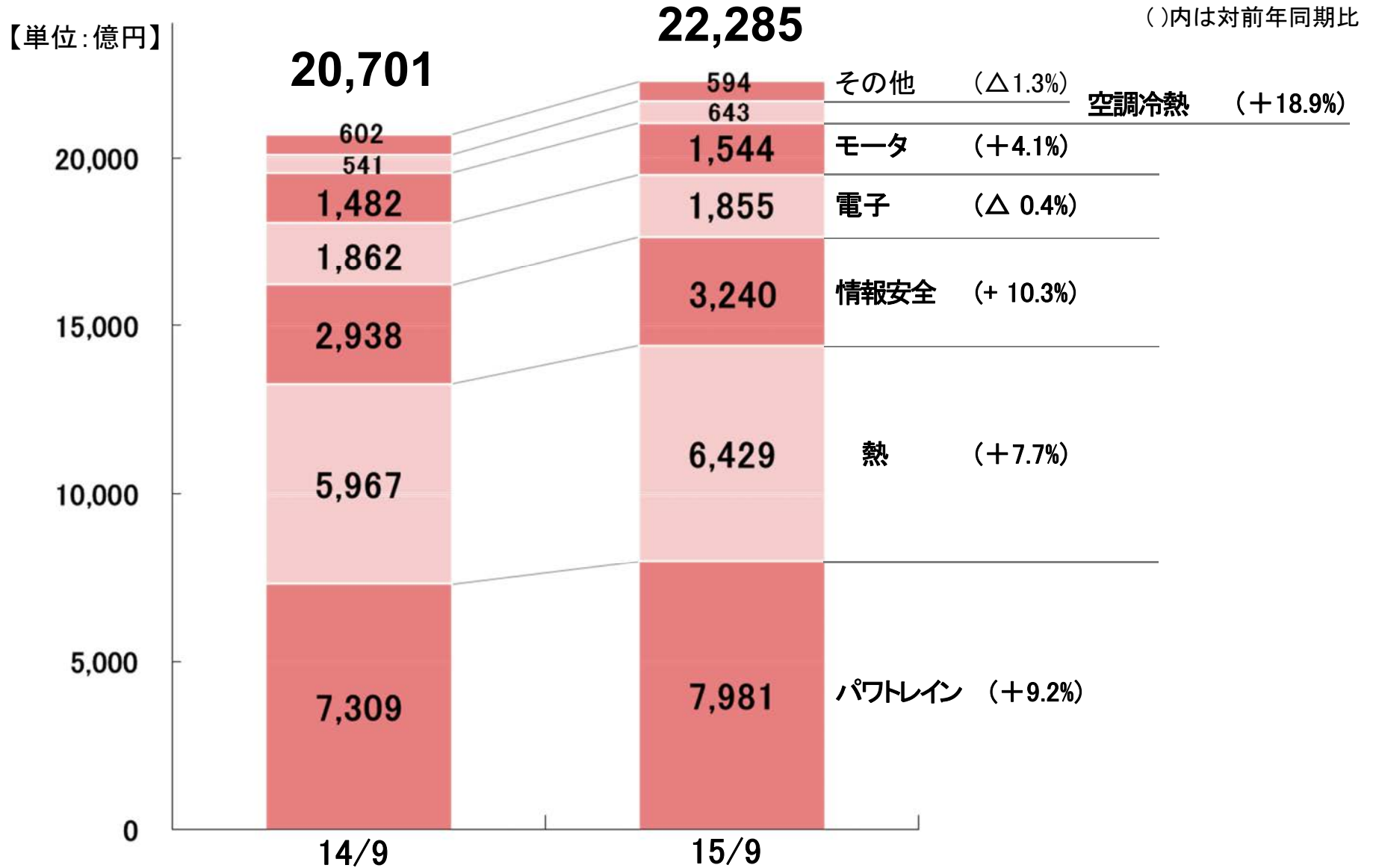
(※1) 金融収益、金融費用、為替差損益、持分法による投資利益

(※2) 親会社の所有者に帰属する当期利益

2016年3月期 第2四半期 売上収益(得意先別)

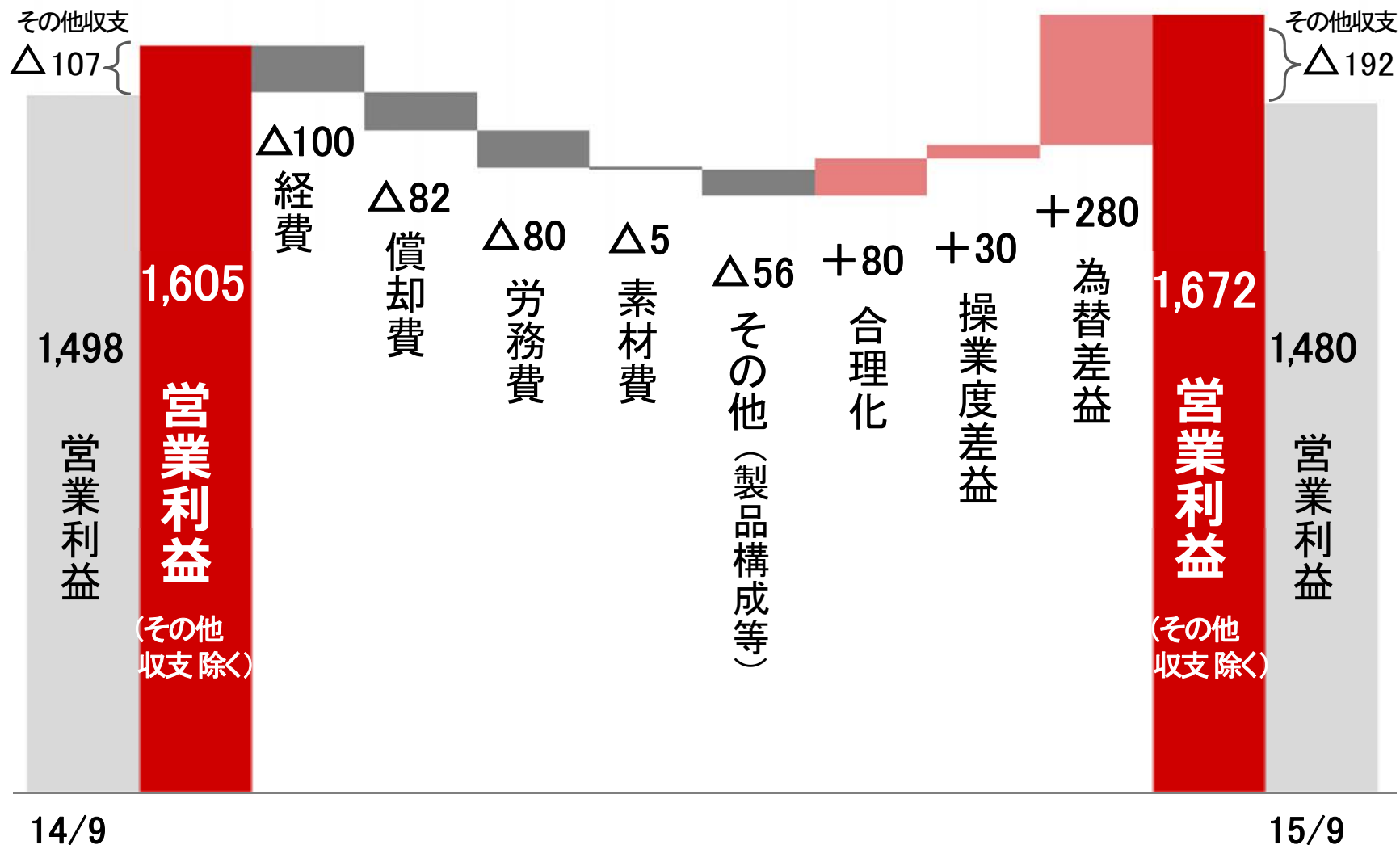


2016年3月期 第2四半期 売上収益(製品別)



2016年3月期 第2四半期 営業利益増減要因(前年比)

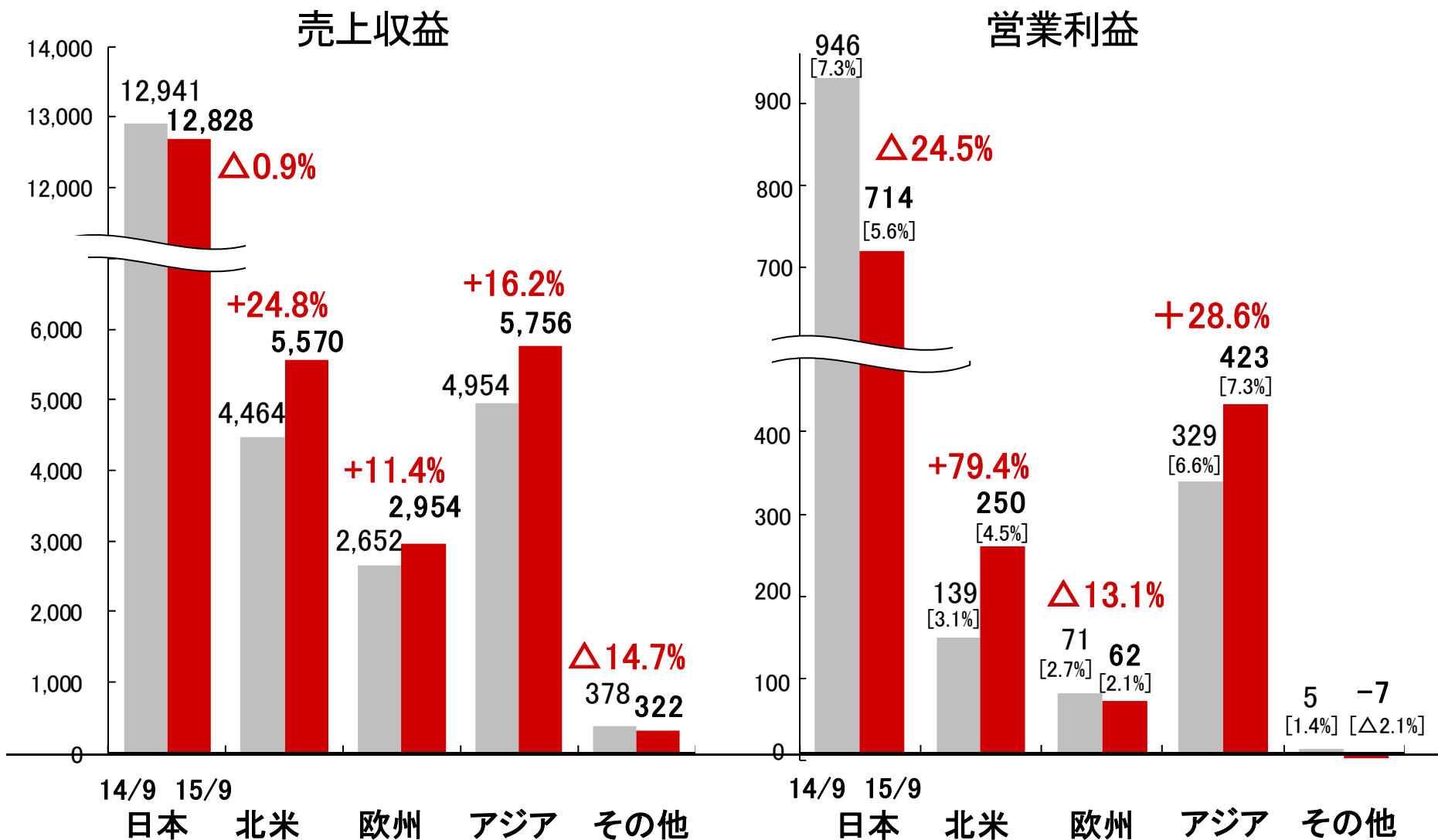
【単位：億円】



2016年3月期 第2四半期 所在地別セグメント情報(前年比)

円貨ベース

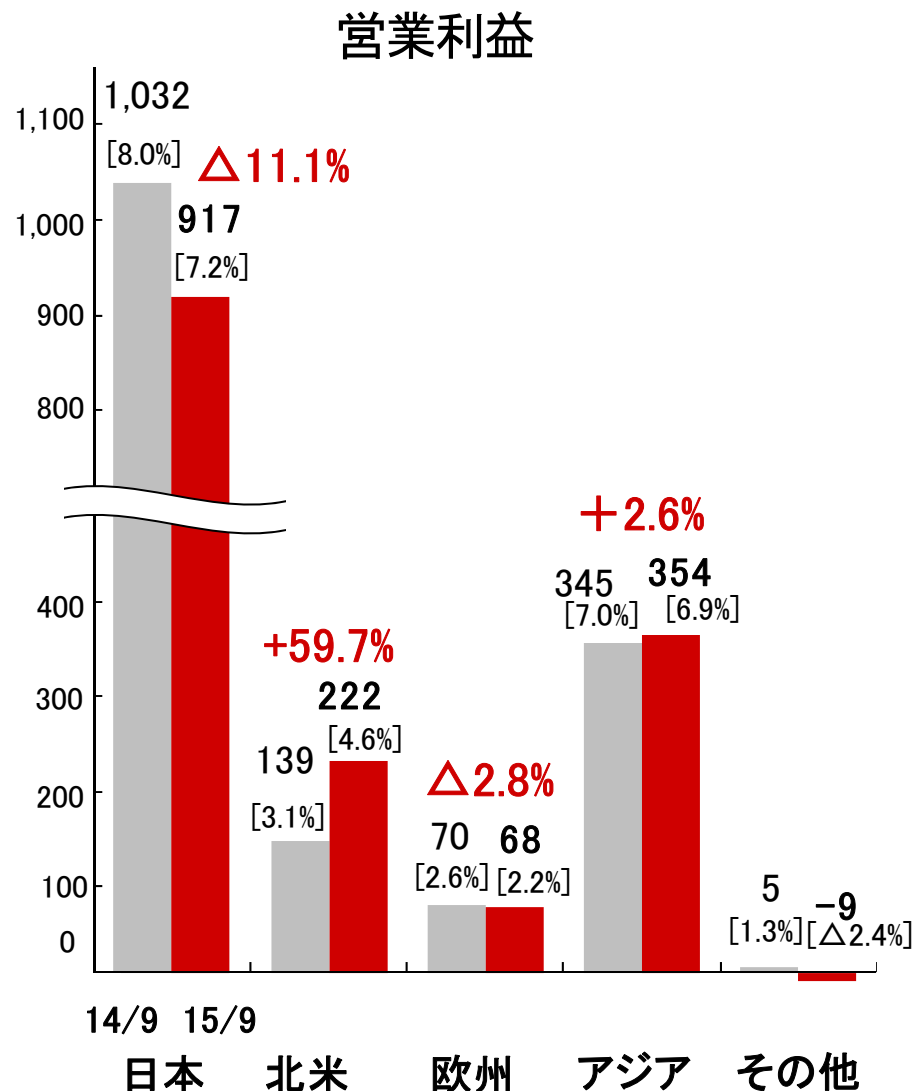
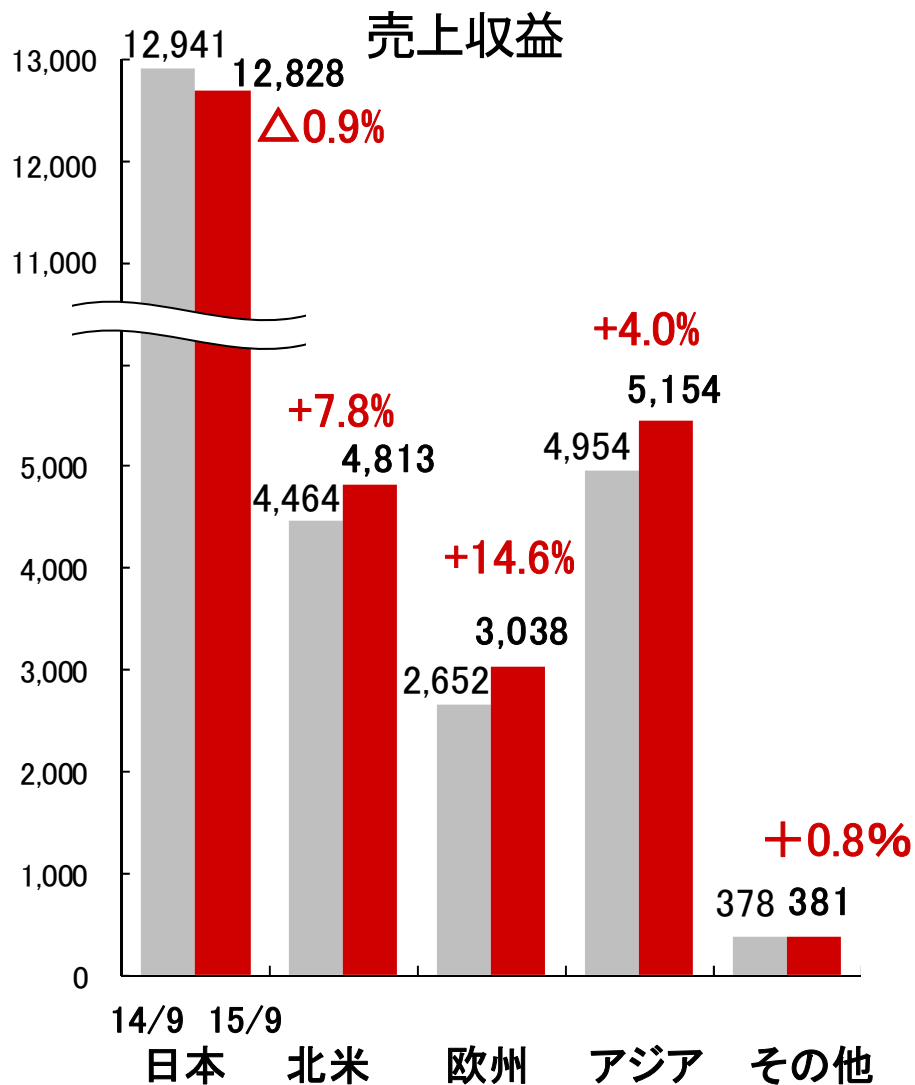
【単位:億円】
[]は営業利益率



2016年3月期 第2四半期 所在地別セグメント情報(前年比)

為替の影響を除いた現地通貨ベース(その他収支を除く)

【単位:億円】
[]は営業利益率



2016年3月期 通期予想

8 / 35

()内は売上収益比

【単位:億円】

	1Q時予想	16/3期最新	15/3期実績	増減額	増減率
売上収益	44,700	45,200	43,098	+ 2,102	+ 4.9%
営業利益 <small>(^{除く}その他収支)</small>	(8.5%) 3,800	(8.2%) 3,700	(8.3%) 3,582	+ 118	+ 3.3%
営業利益	(8.5%) 3,800	(7.7%) 3,500	(7.7%) 3,314	+ 186	+ 5.6%
税引前利益	(9.3%) 4,140	(8.5%) 3,830	(8.6%) 3,719	+ 111	+ 3.0%
当期利益 (※)	(6.3%) 2,800	(5.8%) 2,600	(6.0%) 2,584	+ 16	+ 0.6%
為替レート	119円/ドル 130円/ユーロ	121円/ドル 133円/ユーロ	110円/ドル 139円/ユーロ	11円 円安 6円 円高	
国内車両生産	903万台	901万台	921万台	△20万台	△ 2.2%
海外日系車生産 (内、北米)	1,846万台 (627万台)	1,837万台 (627万台)	1,834万台 (600万台)	+ 3万台 (+27万台)	+ 0.2% (+ 4.4%)

(※)親会社の所有者に帰属する当期利益

DENSO

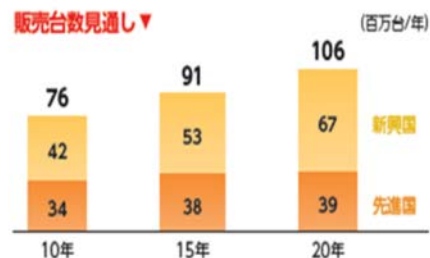
デンソーグループ18年中期成長戦略

1. 18年中期方針
2. 注力する事業
 - (1) 環境、安心・安全
 - (2) 市販・新事業
 - (3) 海外市場

18年の目指す姿

【足元の環境認識】

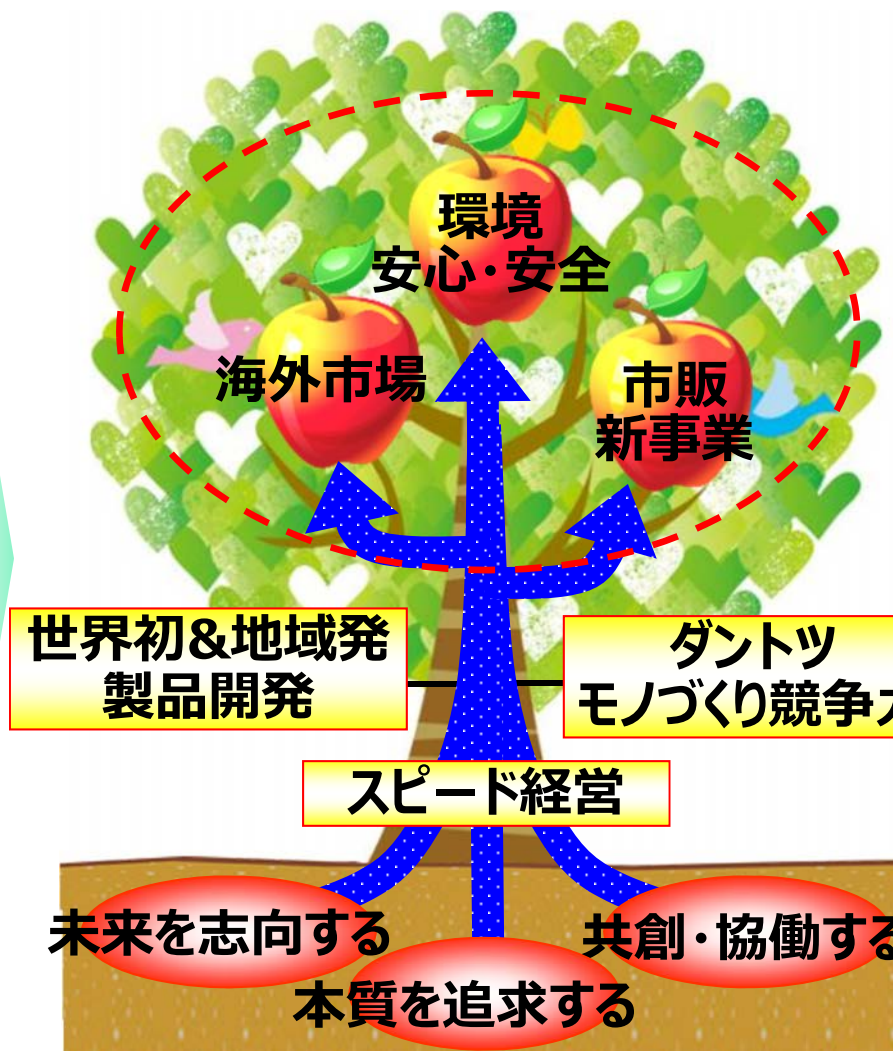
①新興国が引続き市場を牽引



②環境と安心・安全のニーズ拡大



③部品・ユニットの標準化が加速



【実らせたい果実】

足元の経営課題および
長期的な社会課題
解決視点から
注力する事業

【果実に栄養を送り込む幹】

注力事業の拡大をリード
&サポートするために
強化する機能

【樹木を支え育む土壌】

事業の拡大、機能強化を
成し遂げるために
兼ね備えたい企業体質

「環境、安心・安全」「市販新事業」「海外市場」に注力

環境分野

CO₂排出量の削減に向けた環境分野の技術開発の方向性

方向性

実現に向けた取組み



燃費を向上させ、「CO₂排出量の削減」に貢献

地域ニーズに合った商品の提供

～ “内燃機関” + “電動化” の最適組み合わせ ～

デンソーの
システム製品

ガソリン
直噴システム



ディーゼル
コモンレール
システム



アイドルストップ
システム



ISGシステム



ハイブリッド車用
製品



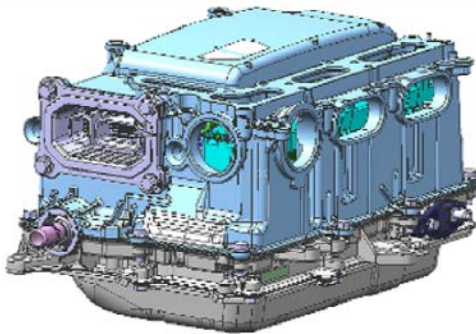
日本	✓		✓		✓
北米	✓			✓	✓
欧州	✓	✓		✓	✓
中国	✓		✓	✓	✓
新興国		✓	✓		

ニーズに合致した「内燃機関と電動化」技術の最適組み合わせを提供

HEVの進化

～ トヨタ 新型プリウス向けパワーコントロールユニット(インバータ等) ～ (トヨタ自動車殿との共同開発)

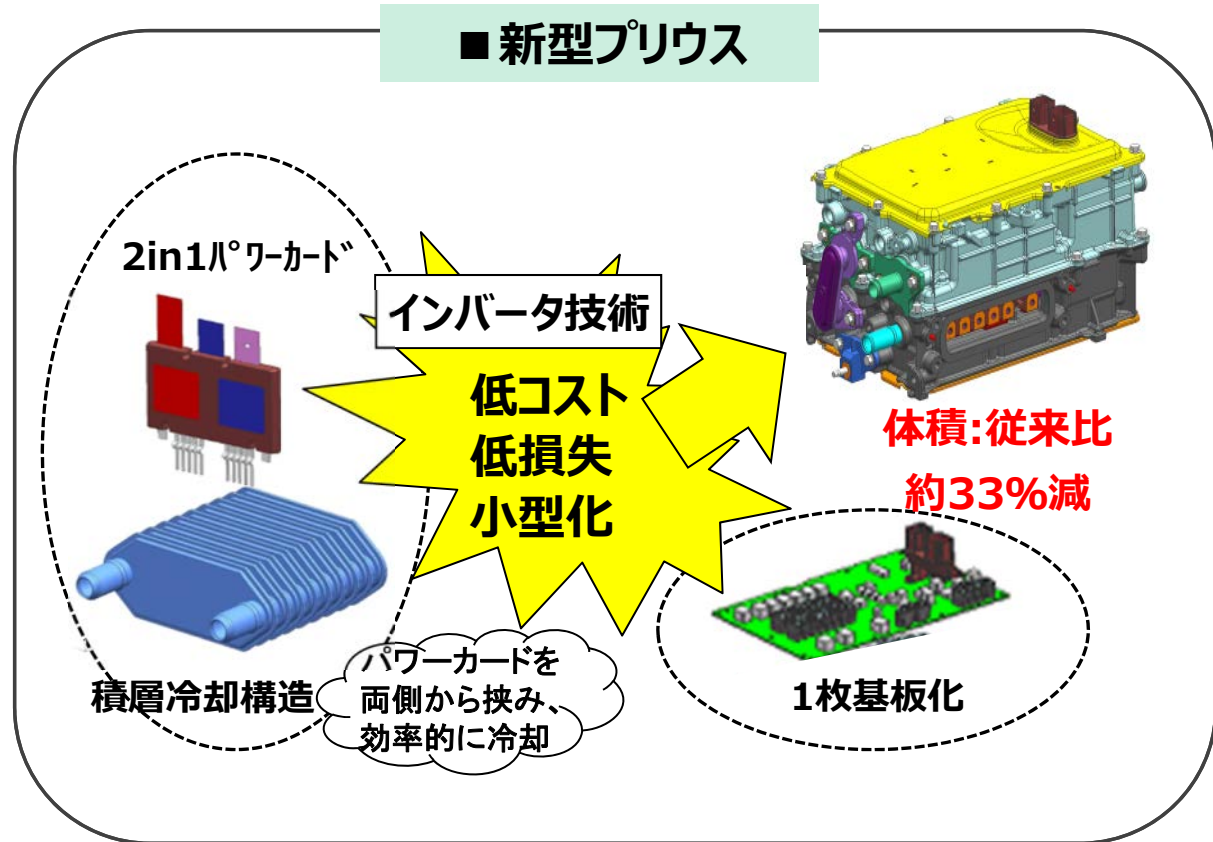
■ 現行プリウス



ユーザーの期待

購入し易い
燃費が良い(CO2削減)
居住空間が広い

■ 新型プリウス



車両の商品力向上を通じて、電動化に貢献

安心・安全分野

高度安心移動社会

ヒト・モノの「安心」な移動の実現

- ・事故が起きない
- ・渋滞が発生しない
- ・高齢者の移動支援
- ・燃費のいい運転 等

安心・安全に貢献する快適空間創出

交通事故分析

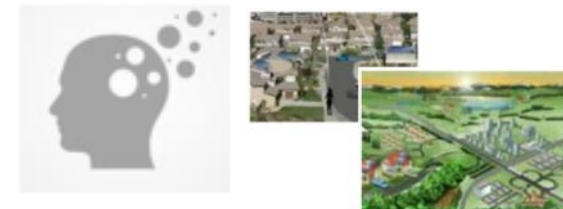


②高度運転支援

高度化レベル2、3*

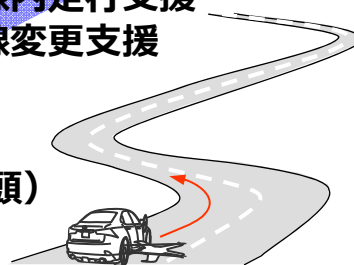
車線内走行支援
車線変更支援

人間の研究



①安全運転支援
予防安全・運転支援

全車速ACC※
車線逸脱防止
対歩行者AEB※（昼）
対歩行者AEB（夜）
対自転車AEB（出合頭）



* 高度化レベル2,3 : 部分的な自動化、条件付き自動化

※ ACC : Adaptive Cruise Control
AEB : Autonomous Emergency Braking

安心・安全性向上

2015

2020

2025

“高度安心移動社会”を目指し、「交通事故ゼロ」に貢献

安全運転支援（予防安全・運転支援）

～ トヨタ 新予防安全パッケージ「Toyota Safety Sense P」への搭載技術 ～

予防安全システム



ミリ波レーダ

特徴：
高分解能な信号処理
技術



画像センサ

特徴：
高い識別性能を実現する
認識アルゴリズム

提供機能



衝突回避支援ブレーキ



歩行者
衝突回避支援ブレーキ



全車速
アダプティブクルーズコントロール



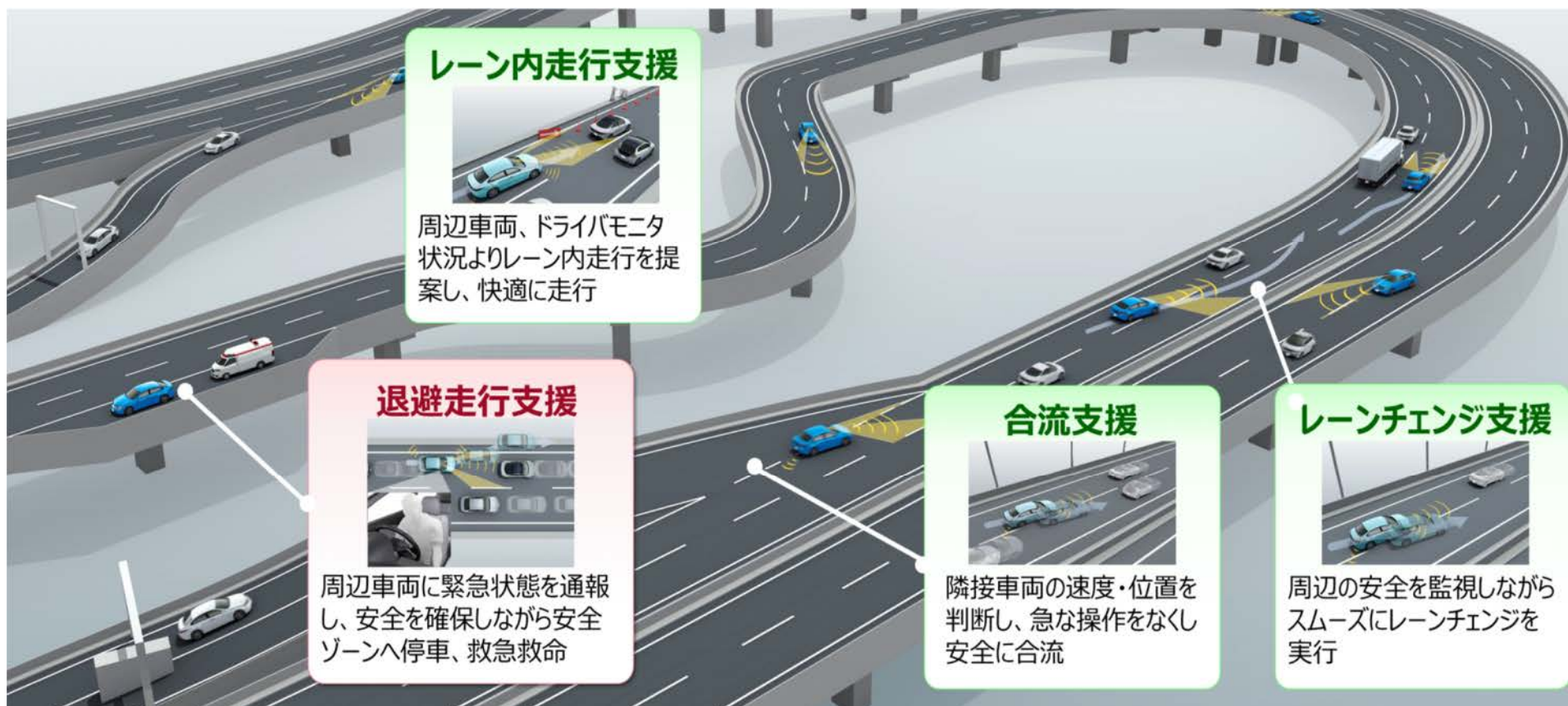
オートハイビーム



車線逸脱防止支援

2つのセンサ組合せにより、車両・歩行者の検知を高い信頼性で実現→量産化

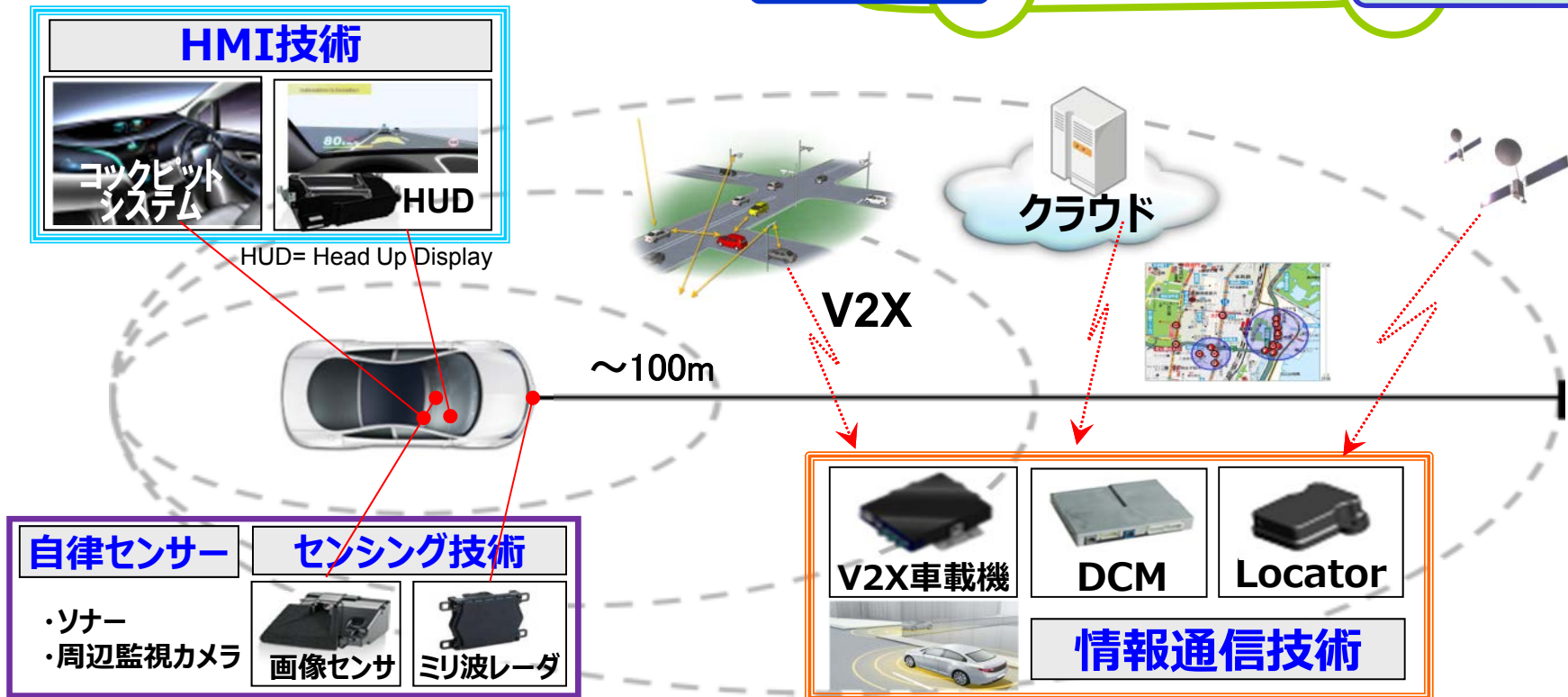
高度運転支援～自動運転



「高度運転支援～自動運転」実現に向けた開発を加速

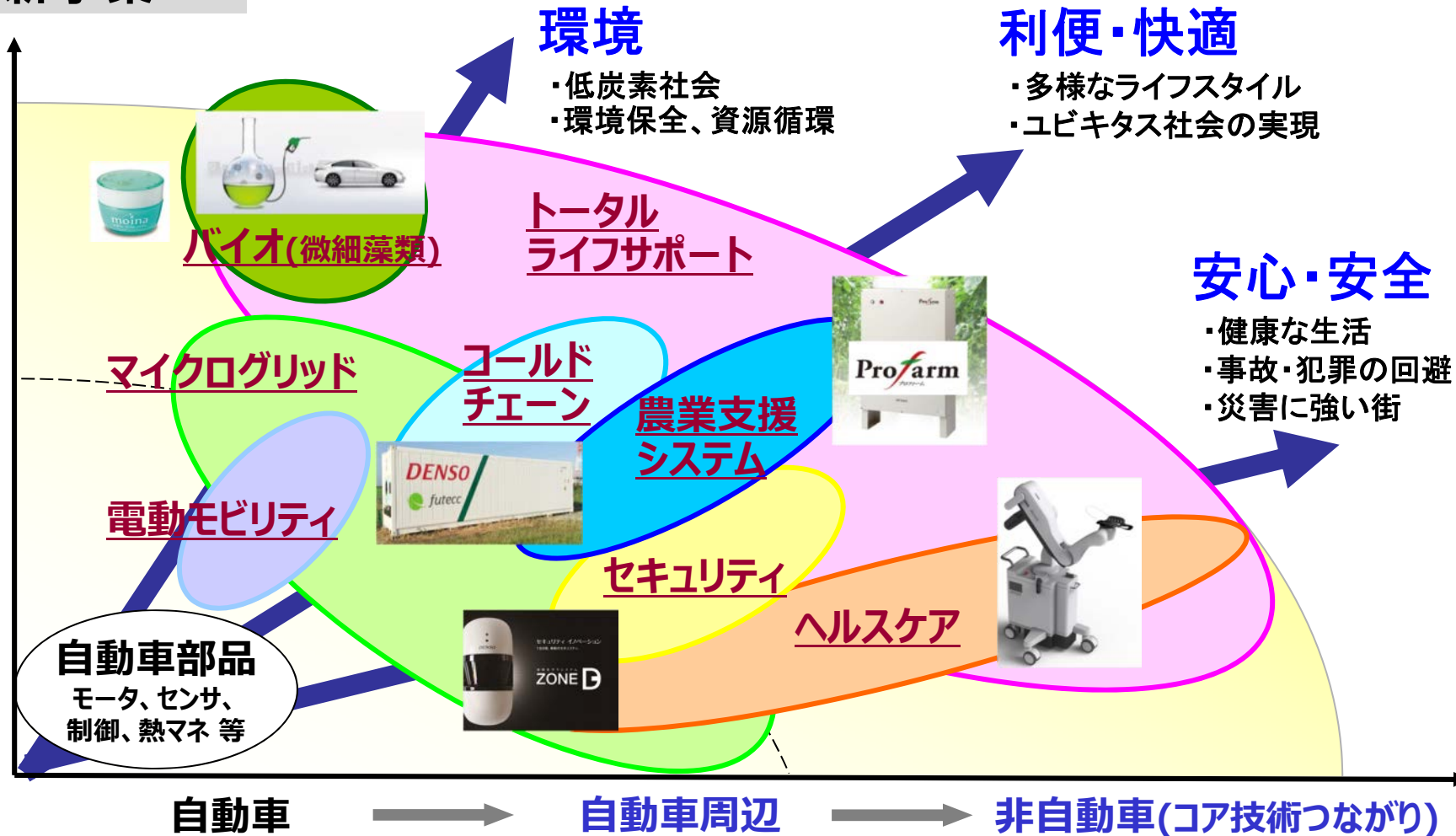
高度運転支援～自動運転

高度運転支援～自動運転
デンソーの技術



センシング,HMI,情報通信の技術を連携させ、「高度運転支援」に貢献

新事業



社会ニーズ、エンドユーザーニーズの視点で商品・サービスを提供

農業分野、コールドチェーン分野



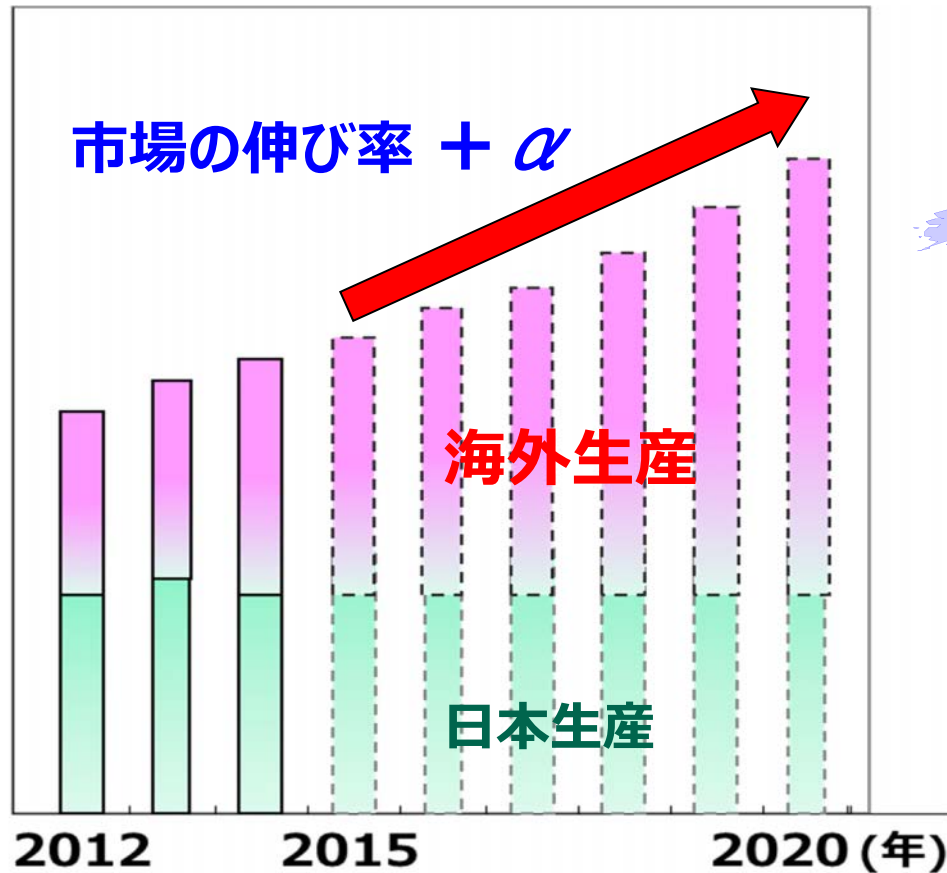
効率化・安定化・付加価値向上

・鮮度保持(食の安心・安全)、輸出拡大(世界市場へ)

サプライチェーンの上流から下流までの課題を解決し、農業の活性化に貢献

海外市場

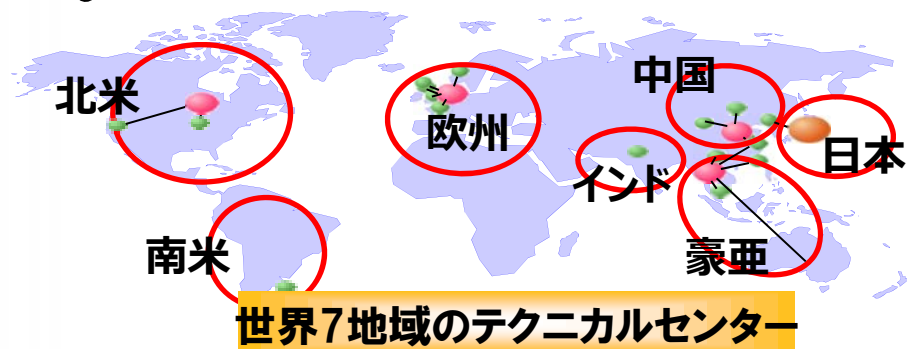
【 売上推移 】



● 売上拡大のためのポイント

【開発】

- ・ 地域最適品
- ・ グローバル競争力のある製品



【生産】

- ・ コスト競争力ある
グローバル生産供給体制
⇒グローバルでのダントツ工場づくり

海外中心に市場の伸びを上回るペースで拡大

グローバル生産供給体制



【生産供給体制構築の考え方】

- ・ 競争力ある新製品の投入
- ・ 最適生産の実現(ブリッジ生産含む)
- ・ 安定した品質

北中米 33社

アジア 71社

欧州 40社

南米 6社

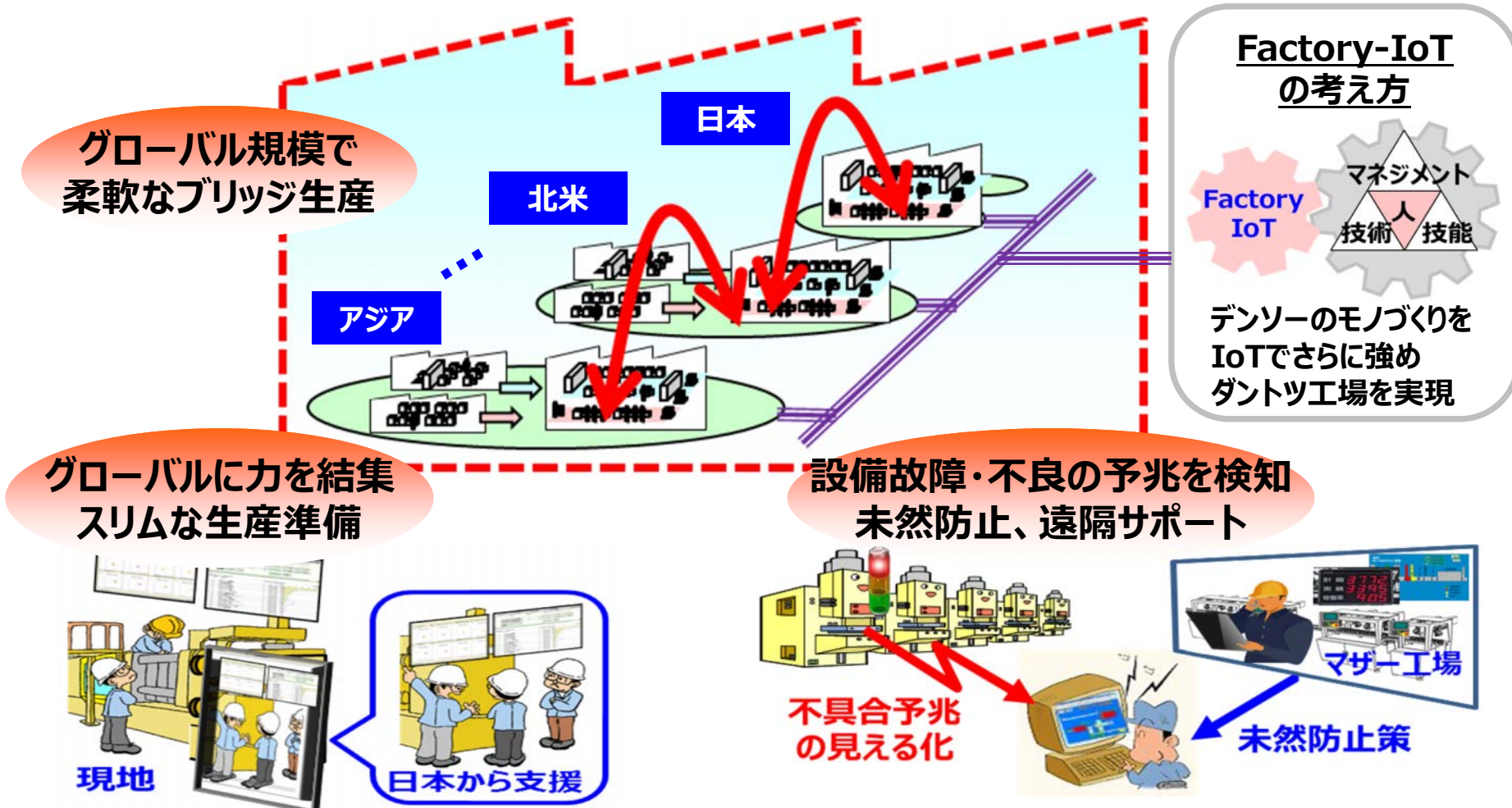
● 2015年9月末現在



グローバル生産供給の「構え」は完成、今後は「競争力」を向上

2-(3). 注力する事業 – 海外市場 –

グローバルでのダントツ工場づくり（世界の工場を一つに）



IoT活用で判断/知恵を結集⇒ダントツ工場進化によりコスト競争力強化

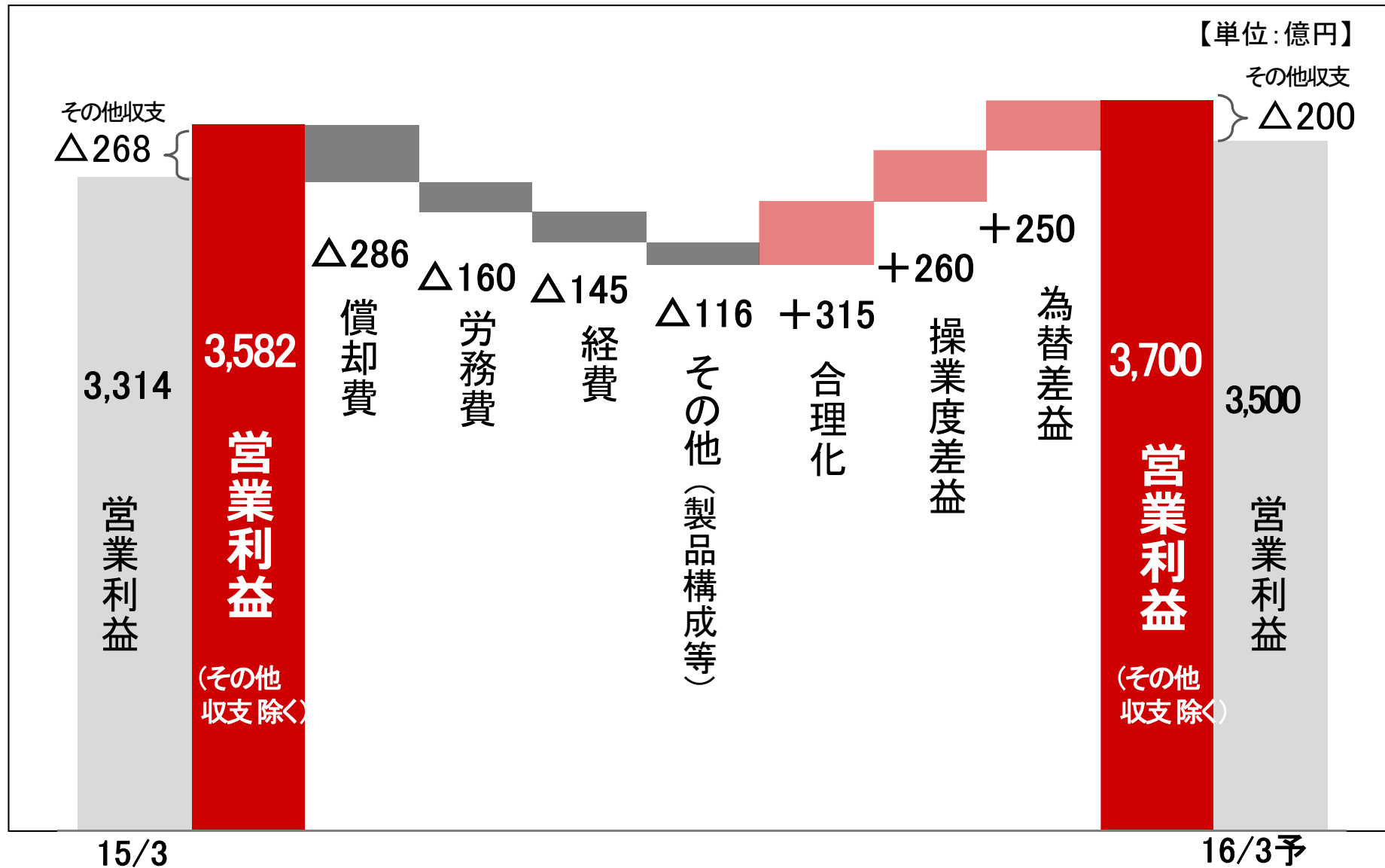


第43回技能五輪国際大会(ブラジル)

DENSO

- 2016年3月期 通期予想
営業利益増減要因(前年比)
- 2016年3月期 通期予想
所在地別セグメント情報(前年比)
- 2016年3月期 第2四半期(3ヶ月)
所在地別セグメント情報(前年比)
- 単独決算概要
- 前提となる為替レート／車両生産台数
- 得意先別売上
- 製品別売上
- 設備投資・償却費・研究開発費の推移
- 地域別 設備投資・償却費・研究開発費

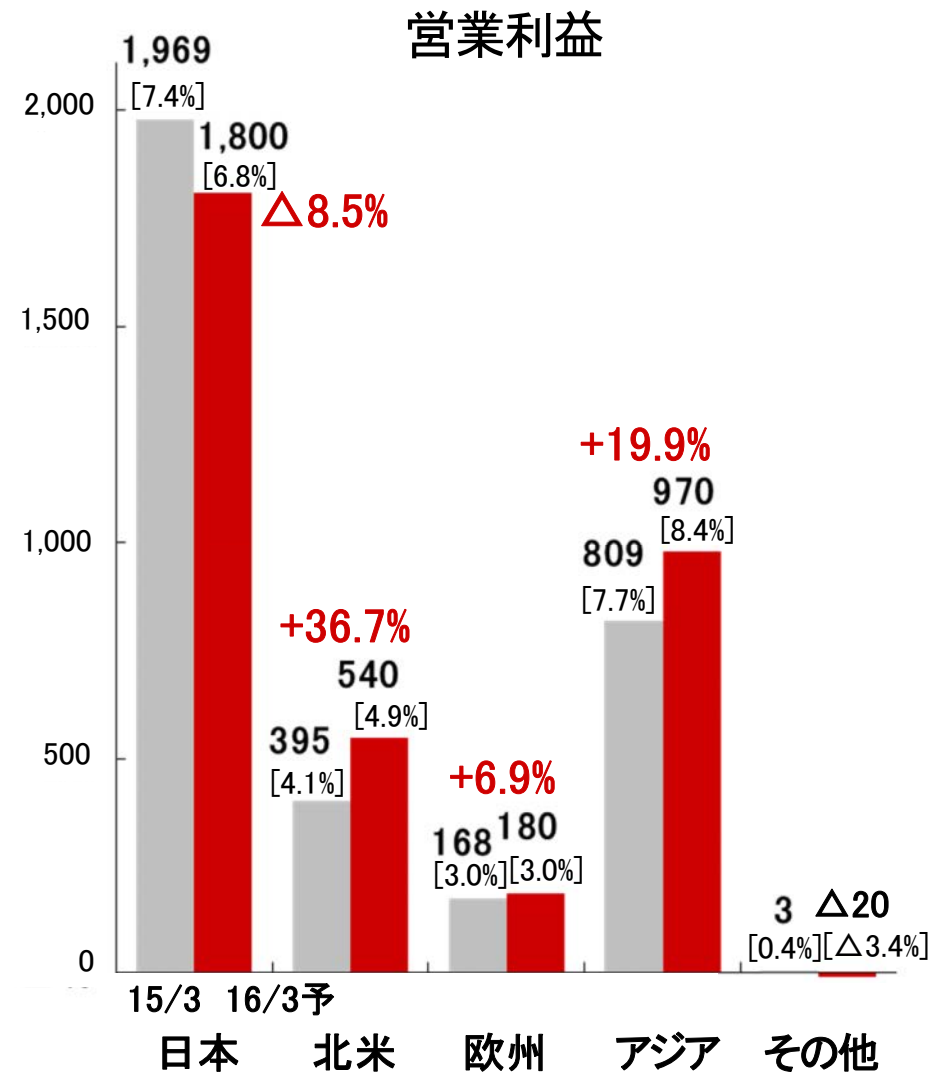
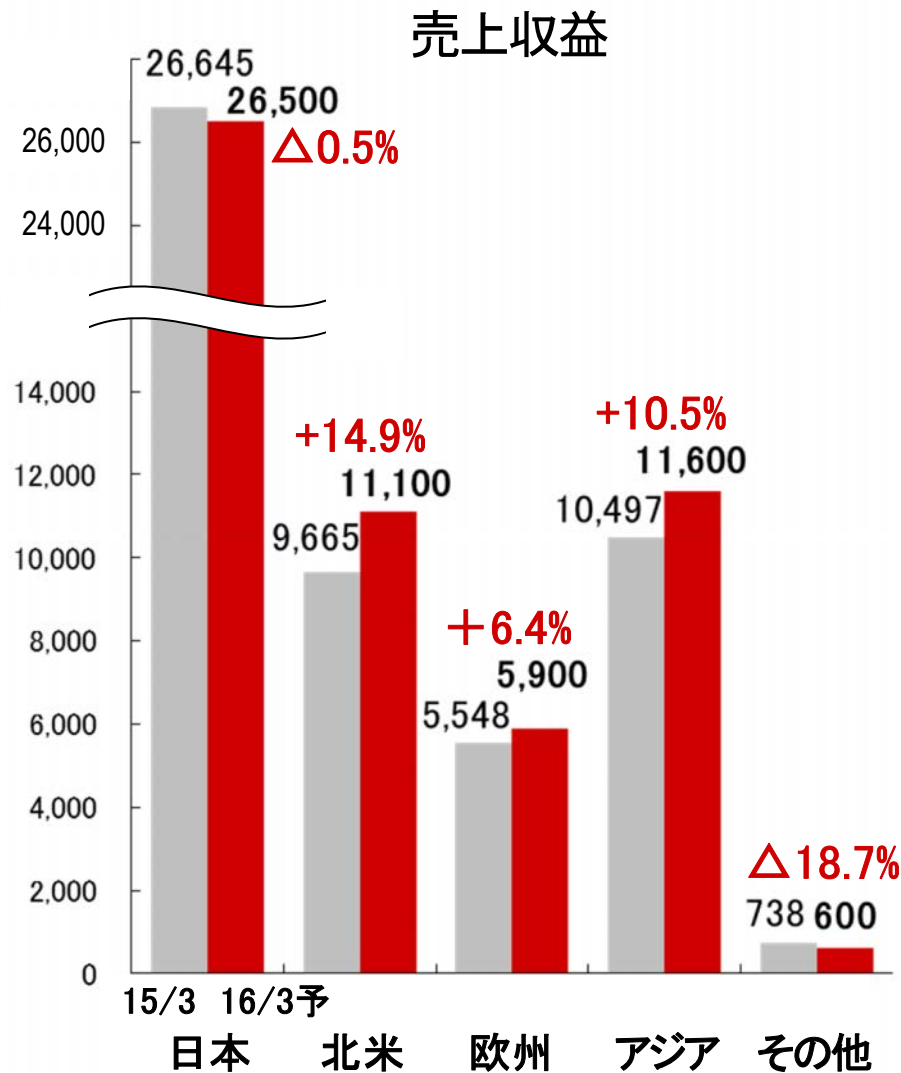
2016年3月期 通期予想 営業利益増減要因(前年比)



2016年3月期 通期予想 所在地別セグメント情報(前年比)

円貨ベース

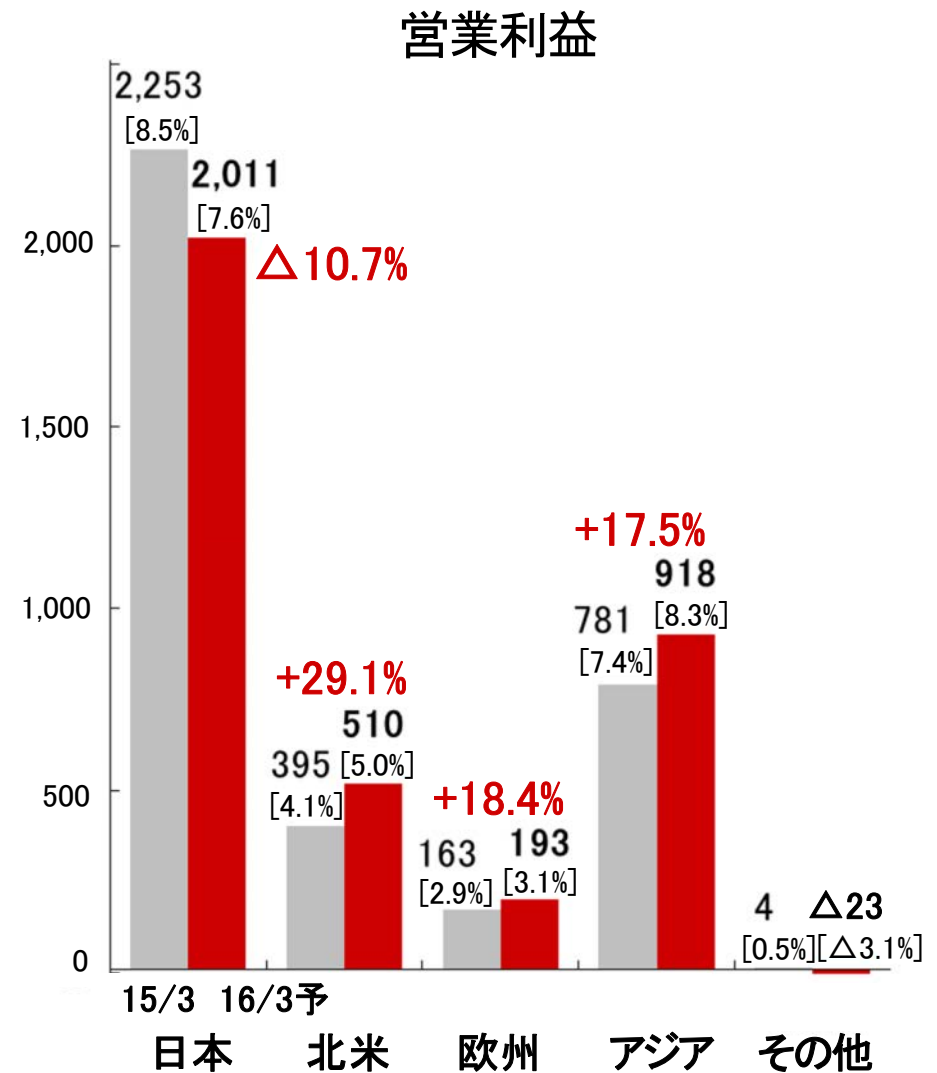
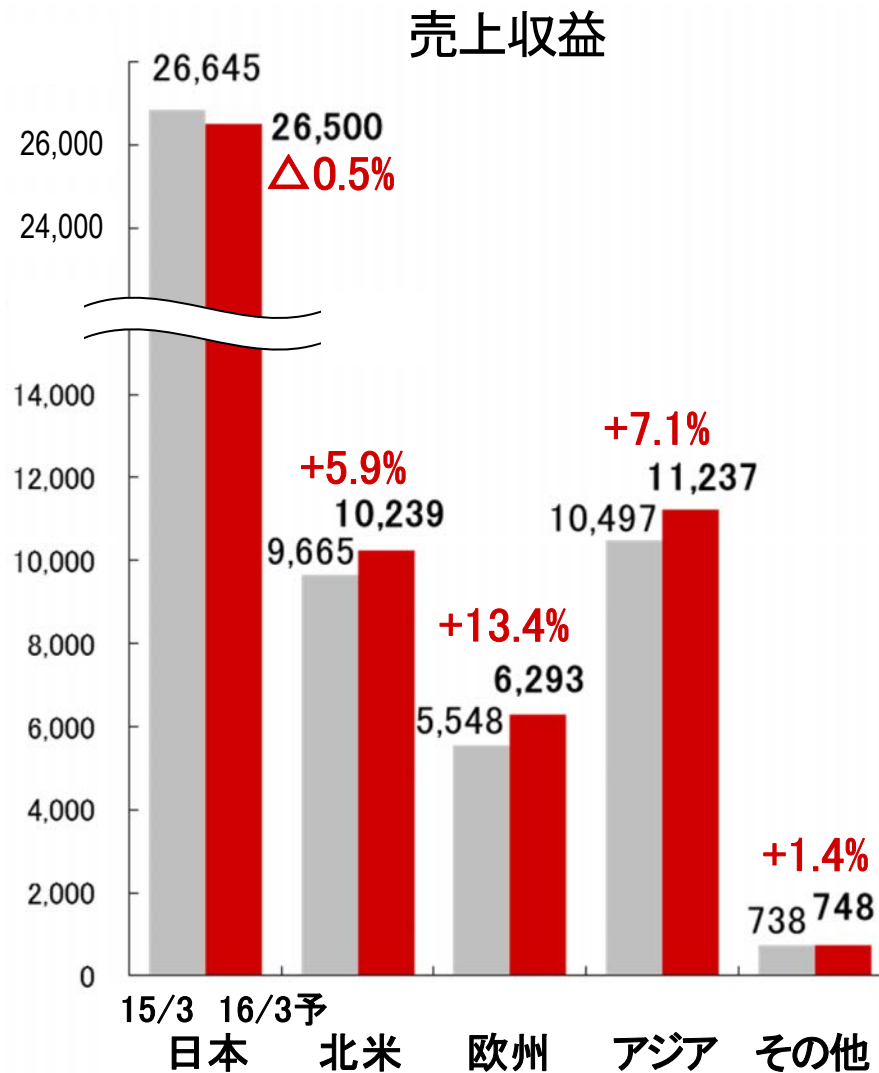
【単位:億円】
[]は売上高比



2016年3月期 通期予想 所在地別セグメント情報(前年比)

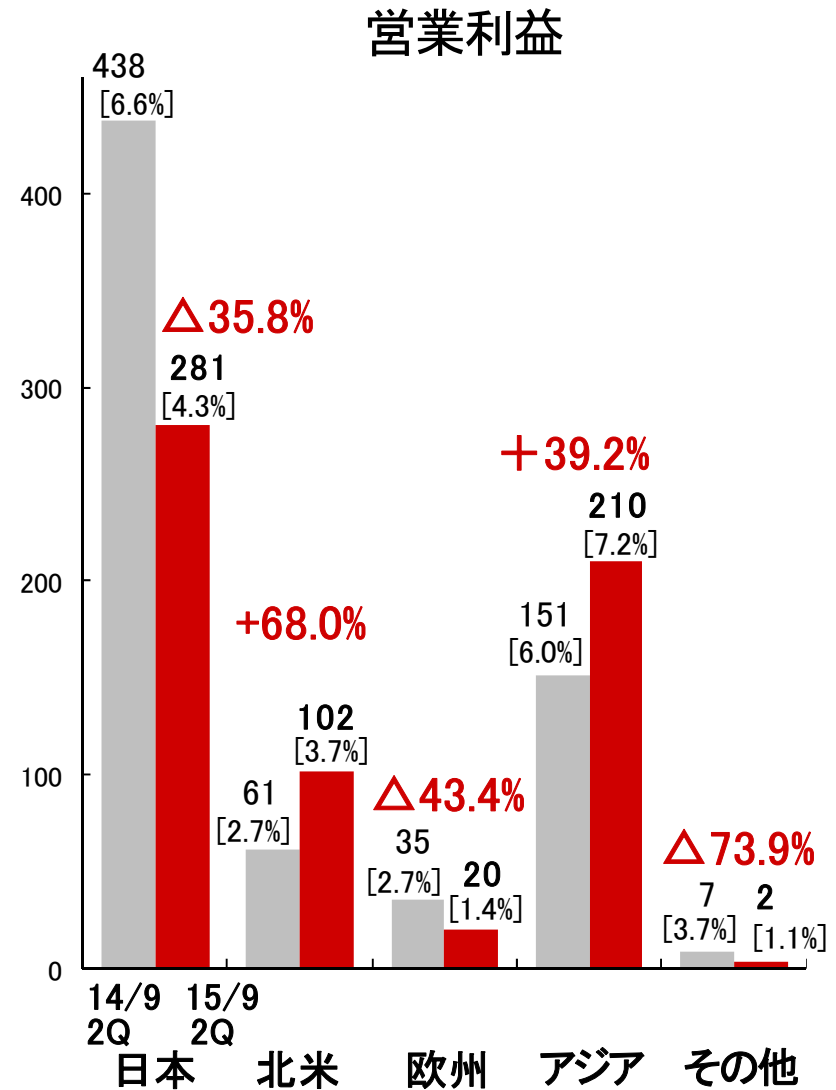
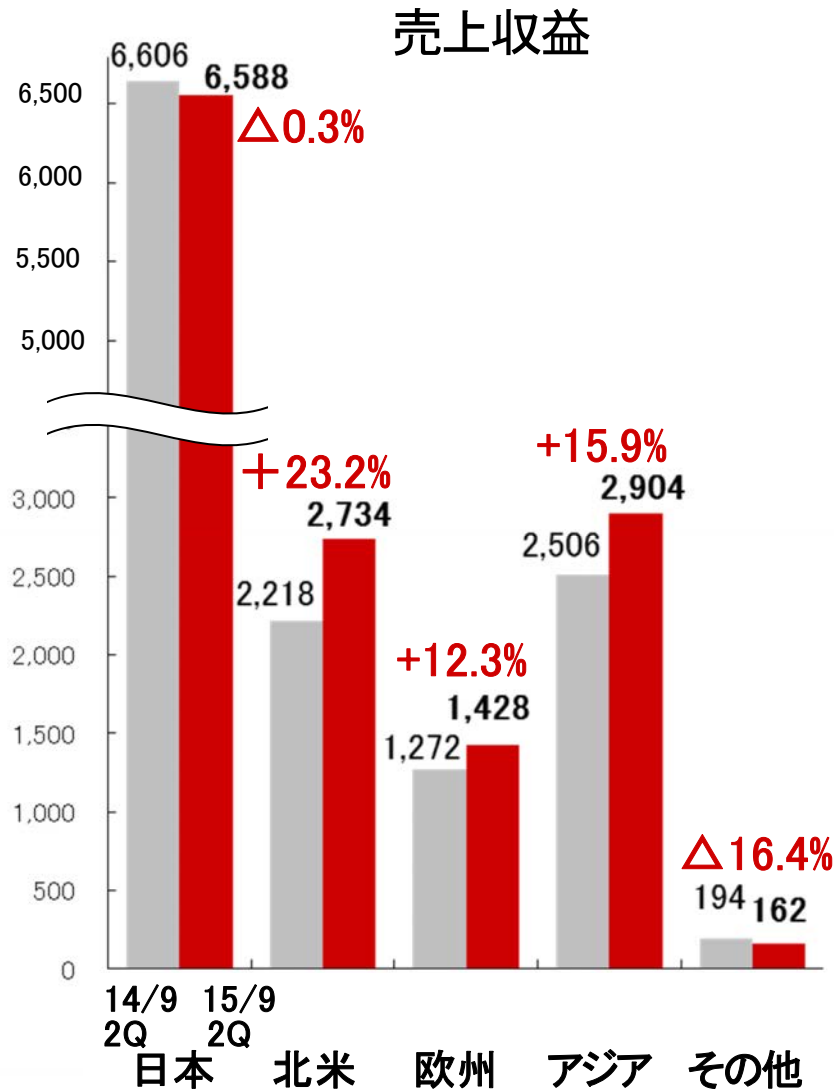
為替の影響を除いた現地通貨ベース (その他収支を除く)

【単位:億円】
[]は売上高比



円貨ベース

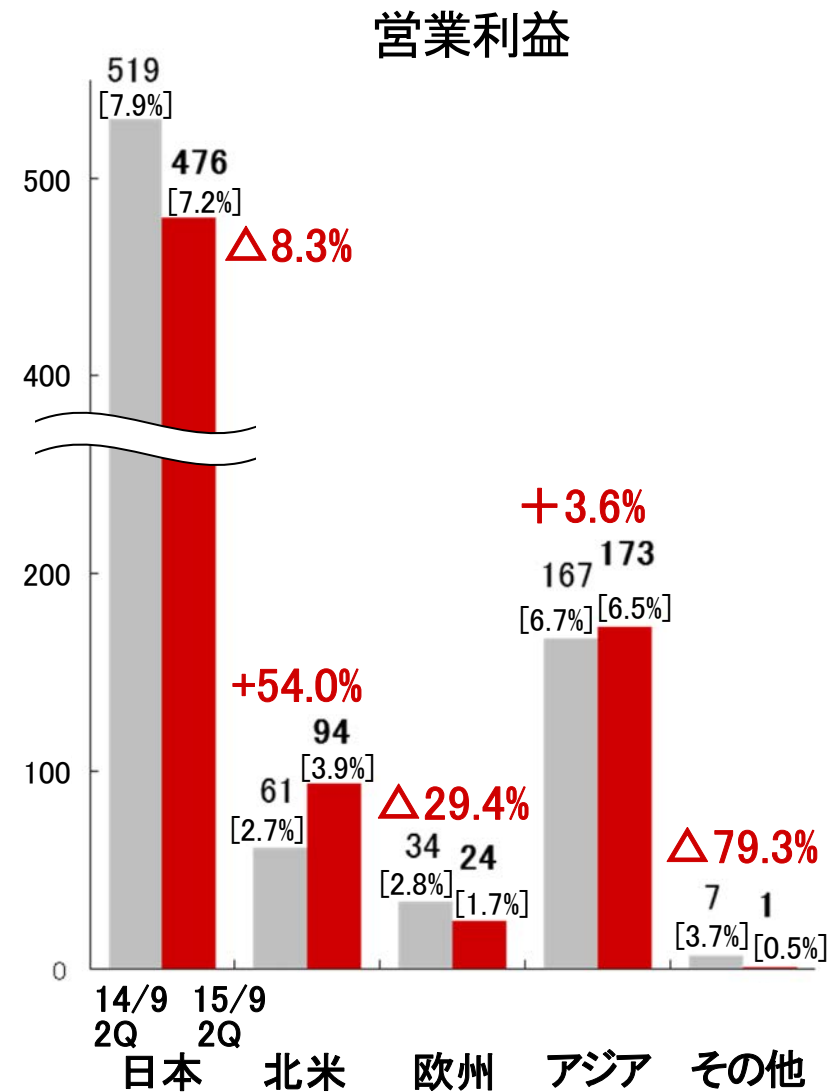
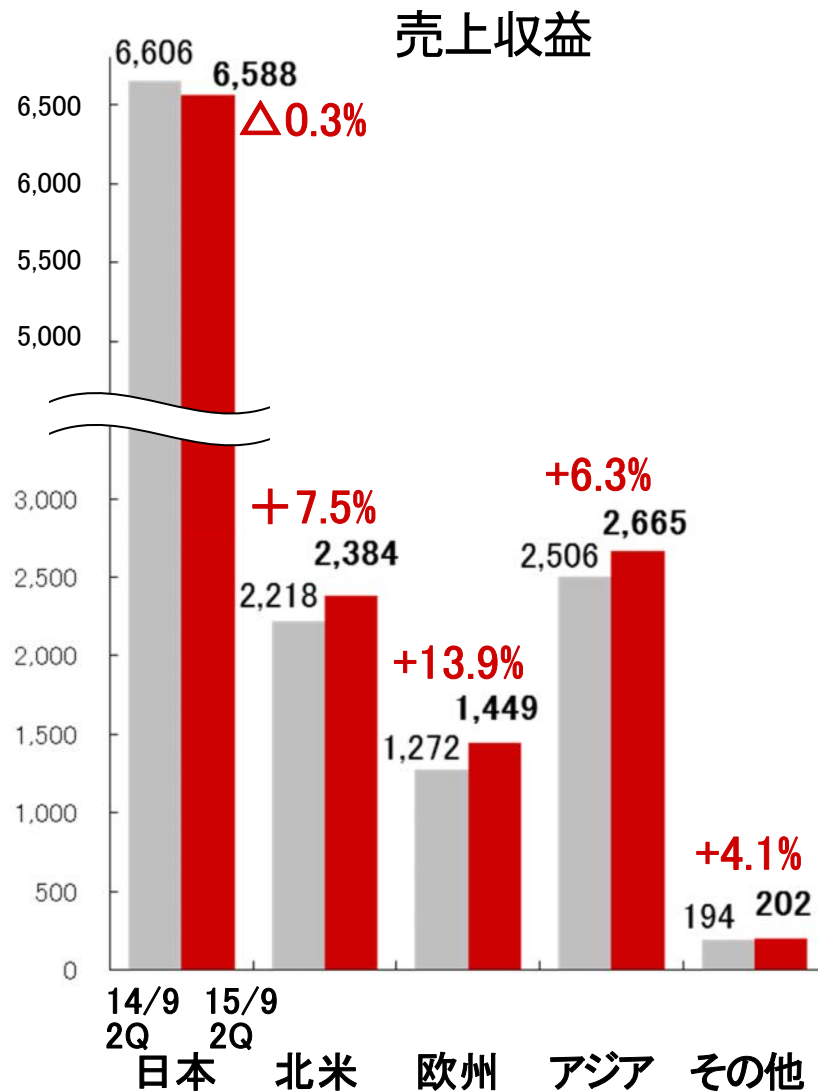
【単位:億円】
[]は営業利益率



2016年3月期 第2四半期(3ヶ月) 所在地別セグメント情報(前年比)

為替の影響を除いた現地通貨ベース (その他収支を除く)

【単位:億円】
[]は営業利益率



損益計算書(日本基準)

() 内は売上高比

【単位：億円，%】

科 目	15/9期実績	14/9期実績	前年比	
			増減額	増減率
売上高	(100.0) 11,753	(100.0) 11,845	△ 92	△0.8
営業利益	(5.9) 689	(6.7) 790	△ 101	△12.8
経常利益	(10.4) 1,223	(11.2) 1,321	△ 98	△7.5
税引前当期純利益	(8.6) 1,010	(10.4) 1,227	△ 217	△17.7
当期純利益	(7.6) 891	(8.6) 1,019	△ 128	△12.6

前提となる為替レート／車両生産台数

		16/3通期														
		上期					下期									
		前年実績	当初予想	1Q時予想	当年実績	前年比	前年実績	当初予想	1Q時予想	最新予想	前年比	前年実績	当初予想	1Q時予想	最新予想	前年比
為替レート (円)	USD	103	115	122	122	18.8円 円安	117	115	115	120	3.2円 円安	110	115	119	121	11.1円 円安
	EUR	139	125	135	135	3.8円 円高	139	125	125	130	8.6円 円高	139	125	130	133	5.8円 円高
1円変動の 利益影響額 (億円)	USD											25	25	25	20	-5
	EUR											7	7	7	7	0
日系車両生産 台数 (万台)	国内	459	436	434	432	△ 6%	463	473	469	469	+1%	921	909	903	901	△ 2%
	北米	299	314	313	313	+5%	302	324	314	314	+4%	600	637	627	627	+5%
	海外日系車	913	922	935	927	+1%	921	982	910	910	△ 1%	1,834	1,904	1,846	1,837	+0%

【単位：億円，％】

区分	15/9期実績		14/9期実績		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
トヨタ	9,301	41.7	8,985	43.4	317	3.5
ダイハツ	425	1.9	515	2.5	△ 90	△ 17.5
日野自動車	262	1.2	271	1.3	△ 9	△ 3.5
トヨタグループ計	9,988	44.8	9,771	47.2	217	2.2
本田技研	1,781	8.0	1,445	7.0	336	23.3
FCA	1,126	5.1	989	4.7	137	13.8
GM	744	3.3	609	2.9	135	22.1
フォード	737	3.3	471	2.3	266	56.5
現代・起亜	726	3.3	660	3.2	66	10.0
マツダ	570	2.6	495	2.4	75	15.1
スズキ	517	2.3	519	2.5	△ 2	△ 0.3
VW・AUDI	402	1.8	410	2.0	△ 8	△ 1.8
富士重工	393	1.8	344	1.6	49	14.4
日産自動車	356	1.6	248	1.2	108	43.6
いすゞ	258	1.2	248	1.2	10	4.0
BMW	231	1.0	202	1.0	28	14.0
三菱自動車	228	1.0	241	1.2	△ 13	△ 5.3
ベンツ	187	0.8	172	0.8	16	9.2
PSA	141	0.6	101	0.5	40	39.0
ボルボ	124	0.6	78	0.4	46	59.1
ジャガー・ランドローバー	95	0.4	95	0.5	△ 1	△ 0.7
その他メーカー	1,356	6.1	1,276	6.2	80	6.2
OEM計	19,959	89.6	18,374	88.8	1,585	8.6
※市販・新事業他	2,325	10.4	2,327	11.2	△ 2	△ 0.1
合計	22,285	100.0	20,701	100.0	1,583	7.6

※ OES(メーカー補給含む)、一般市販、新事業、設備売上等を含む

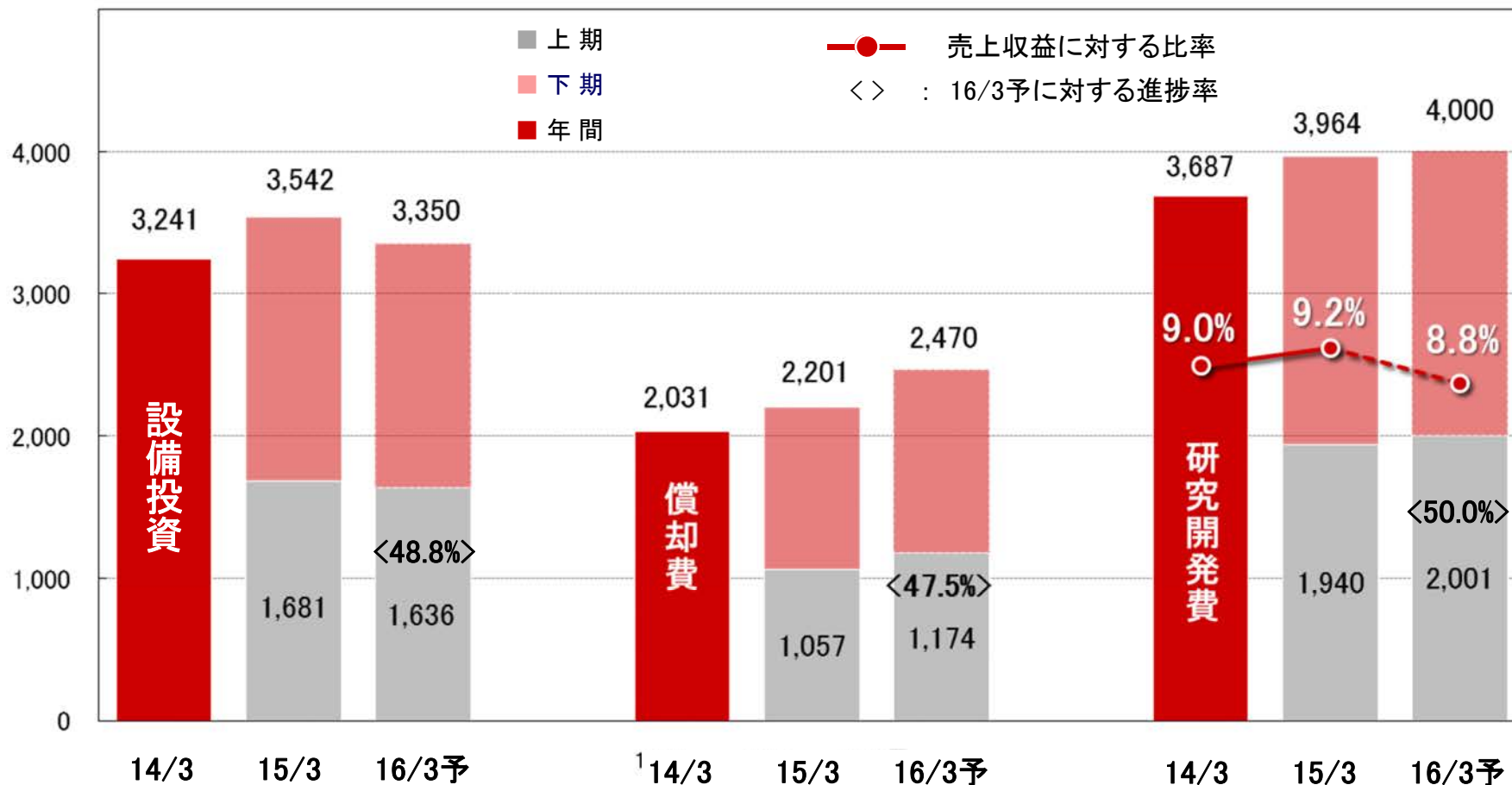
【単位：億円，％】

区 分	15/9期 実績		14/9期 実績		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
ハ ° ワ ト レ イ ン	7,981	35.8	7,309	35.3	671	9.2
熱	6,429	28.8	5,967	28.8	462	7.7
情 報 安 全	3,240	14.6	2,938	14.2	302	10.3
電 子	1,855	8.3	1,862	9.0	△ 7	△ 0.4
モ - タ	1,544	6.9	1,482	7.2	61	4.1
空 調 冷 熱	643	2.9	541	2.6	102	18.9
そ の 他 ※	279	1.3	279	1.3	0	0.1
自 動 車 分 野 計	21,969	98.6	20,378	98.4	1,591	7.8
産 業 ・ 生 活 関 連 機 器	233	1.0	234	1.1	△ 1	△ 0.4
そ の 他	83	0.4	90	0.4	△ 7	△ 7.4
新 事 業 分 野 計	315	1.4	323	1.6	△ 8	△ 2.4
合 計	22,285	100.0	20,701	100.0	1,583	7.6

※ 設備売上、補修品、子会社オリジナルブランド製品等

設備投資・償却費・研究開発費の推移

【単位：億円】



地域別 設備投資/償却費、研究開発費

【単位：億円】

		15/3期		16/3期		15/9期	
		14/9期	実績	15/9期	予想	増減率	進捗率
設備投資	日本	888	1,890	930	1,830	4.7%	50.8%
	北米	204	485	233	450	14.2%	51.8%
	欧州	129	292	130	280	0.8%	46.4%
	アジア	443	831	333	760	△24.8%	43.8%
	その他	17	44	9	30	△47.1%	30.0%
	合計	1,681	3,542	1,636	3,350	△2.7%	48.8%
償却費	日本	657	1,333	664	1,428	1.1%	46.5%
	北米	104	234	139	290	33.7%	47.9%
	欧州	82	170	92	185	12.2%	49.7%
	アジア	196	428	262	530	33.7%	49.4%
	その他	18	36	17	37	△5.6%	45.9%
	合計	1,057	2,201	1,174	2,470	11.1%	47.5%
研究開発費 (売上収益比)		1,940 (9.4%)	3,964 (9.2%)	2,001 (9.0%)	4,000 (8.8%)	3.1%	50.0%